

### 三菱総合研究所、New Space Intelligence 社と事業連携 衛星データを活用した国内外向けインテリジェンス・サービス開発・提供へ

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長: 藪田健二、以下 MRI)は、株式会社 New Space Intelligence(本社: 山口県宇部市、CEO: 長井裕美子、以下 NSI)との事業連携に着手し、同社に出資を行いました。NSI が保有する「衛星データパイプライン」を活用したサービスの開発・提供を共同で進め、インフラの状況監視、被災状況や海外情勢の把握等を通じて、国内外のお客さまのさまざまな課題解決に貢献します。

#### 1. 背景

近年、地球低軌道を周回する人工衛星の数は急速に増加し、それら衛星が取得した観測画像の利用が注目されています。衛星による広域かつ定期的な観測画像はさまざまな用途で活用可能で、例えば、災害の予兆把握・早期把握での利用は安全でレジリエントな社会の構築に大きく貢献するものです。

一方、衛星データの入手にはコストがかかり、解析に専門的知見と時間を要することが課題です。また今後さらに衛星データが増加した際、利用者が見たい情報を的確に選び提供することが求められます。NSI は、複数の衛星データを対象に、画像の選択・統合・解析・提供といった一連のプロセスを「パイプライン」として自動化する技術を有しており、こうした課題への対応が可能です。

MRI は、これまで衛星データ利用の社会実装に向けた調査検討や実証に取り組んできました。このたび、NSI の保有する技術に着目し、事業連携に着手し、同社に出資を行いました。

#### 2. 事業連携の概要

多様な社会課題解決に取り組む総合シンクタンクである MRI の知見と、NSI が保有する「衛星データパイプライン」(\*)を活用し、国内外のインフラ監視サービスや、衛星データと他の空間情報・統計データを組み合わせた海外情勢の分析などのサービスの開発・提供に協力して取り組みます。

不確実性・不透明性の高い世の中においては、客観的エビデンスに基づいた意思決定に資する情報(インテリジェンス)が不可欠です。このような衛星などの空間情報に基づくインテリジェンスへのニーズは拡大傾向にあり、全世界で 10 兆円規模の市場になるともいわれています。MRI と NSI は国内外で活動を行うお客さまに対し、衛星データ等を活用したインテリジェンス提供に向けて事業開発を行うとともに、さらなるパートナーとの事業連携も積極的に進めていきます。

MRI と NSI の事業連携による価値提供



## ※衛星データパイプライン

複数の衛星データを組み合わせ、画像の選択・統合・解析・提供の一連のプロセスを「パイプライン」として自動化し、最適なデータを用いた高頻度・広域の地表監視を低コストで提供するプラットフォームサービス。顧客（鉄道等）が有する広域のインフラ施設等の状態を監視し、災害等で変化があれば自動通知される。

### 「衛星データパイプライン」の概要



出所: NSI

## 参考:

### 株式会社 New Space Intelligence (NSI)概要

会社名	株式会社 New Space Intelligence
所在地	山口県宇部市大字西岐波329番地22
代表者	長井裕美子
設立	2021年11月2日
資本金	1600万円
事業内容	「衛星データパイプライン」による変化検出・異常検知サービスの提供
URL	<a href="https://www.newspaceint.com/ja">https://www.newspaceint.com/ja</a>

[New Space Intelligence、三菱総合研究所と事業連携\(NSI プレスリリース 2023.12.25\)](#)

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

### 【内容に関するお問い合わせ】

先進技術・セキュリティ事業本部 武藤、小久保  
メール: [nsi-team@ml.mri.co.jp](mailto:nsi-team@ml.mri.co.jp)

### 【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部  
メール: [media@mri.co.jp](mailto:media@mri.co.jp)

本資料は、経済産業記者会、経済産業省ペンクラブおよび当社にてコンタクトのある記者の方々にもご案内しています。